

スーパーマーケット販売統計調査資料

2016 年 9 月実績 速報版(パネル 270)

8 月実績 確報版(パネル 270)

(2016 年 10 月 21 日公表)

調査資料概要

【パネル 270 社集計】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象に同一企業を集計

※2016 年 4 月実績よりパネル対象企業変更(275 社→270 社)

【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

【速報版・確報版】

速報版:毎月21日前後に前月販売実績を速報値として公表

確報版:速報値に精度の高い集計を行い確報値として公表

【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較

既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮 3 部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜		惣菜、折詰料理、揚げ物、弁当、おにぎり、寿司、インスタペーカーリー、ファーストフード
		日配		豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム
		一般食品		調味料、瓶詰詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類
	非食品		日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具	
	その他		テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業 (DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)	

【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※2014 年 4 月実績よりエリア区分を 8 地方区分による 6 地方に変更

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

オール日本スーパーマーケット協会

一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2016年10月21日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査 2016年9月実績 速報版（パネル270）

	全店売上高（万円）	構成比	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
総売上高	84,658,343	100.0%	101.2%	98.8%
食品合計	76,090,736	89.9%	101.7%	99.2%
生鮮3部門合計	29,053,150	34.3%	100.2%	97.5%
青果	12,331,937	14.6%	100.0%	97.5%
水産	7,351,166	8.7%	99.8%	97.3%
畜産	9,370,047	11.1%	100.6%	97.7%
惣菜	8,523,218	10.1%	103.0%	100.1%
日配	16,581,260	19.6%	103.1%	100.6%
一般食品	21,933,108	25.9%	102.2%	100.0%
非食品	6,168,684	7.3%	97.2%	96.6%
その他	2,398,968	2.8%	94.9%	94.4%

地方分類別集計

エリア	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
北海道・東北地方	11,487,757	43	101.0%	99.4%
関東地方	31,316,816	73	101.3%	98.8%
中部地方	10,384,137	53	101.7%	97.6%
近畿地方	18,534,538	44	100.4%	98.9%
中国・四国地方	8,588,932	34	102.9%	98.3%
九州・沖縄地方	4,346,163	23	100.7%	100.2%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
1～3店舗	741,942	47	95.1%	95.1%
4～10店舗	3,551,567	68	97.7%	97.7%
11～25店舗	9,531,661	65	99.1%	97.6%
26～50店舗	16,228,926	47	101.2%	98.5%
51店舗以上	54,604,246	43	101.8%	99.2%

集計企業数（社）	270	既存店総売上高（万円）	81,916,269
総店舗数（店舗）	7,711	店舗平均月商（万円）	10,979
総売場面積（㎡）	12,712,307	売場1㎡あたり売上高（万円）	6.7

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2016年10月21日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査 2016年8月実績 確報版 (パネル270)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	91,694,508	100.0%	100.6%	98.2%
食品合計	82,414,505	89.9%	101.0%	98.4%
生鮮3部門合計	30,602,423	33.4%	99.7%	97.0%
青果	12,779,629	13.9%	99.6%	97.1%
水産	7,986,403	8.7%	98.8%	96.2%
畜産	9,836,390	10.7%	100.4%	97.4%
惣菜	9,596,382	10.5%	101.5%	98.5%
日配	17,582,005	19.2%	102.6%	100.0%
一般食品	24,633,695	26.9%	101.4%	98.9%
非食品	6,721,494	7.3%	97.9%	97.2%
その他	2,558,558	2.8%	94.9%	94.4%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	13,287,435	43	99.5%	96.9%
関東地方	32,507,537	73	100.5%	98.2%
中部地方	11,491,324	53	101.5%	97.2%
近畿地方	19,874,813	44	100.2%	99.0%
中国・四国地方	9,565,905	34	102.8%	98.5%
九州・沖縄地方	4,967,494	23	101.1%	99.6%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1～3店舗	836,555	47	95.4%	95.4%
4～10店舗	3,888,396	68	97.2%	97.2%
11～25店舗	10,717,343	66	98.0%	96.9%
26～50店舗	17,475,642	46	100.4%	98.2%
51店舗以上	58,776,571	43	101.5%	98.6%

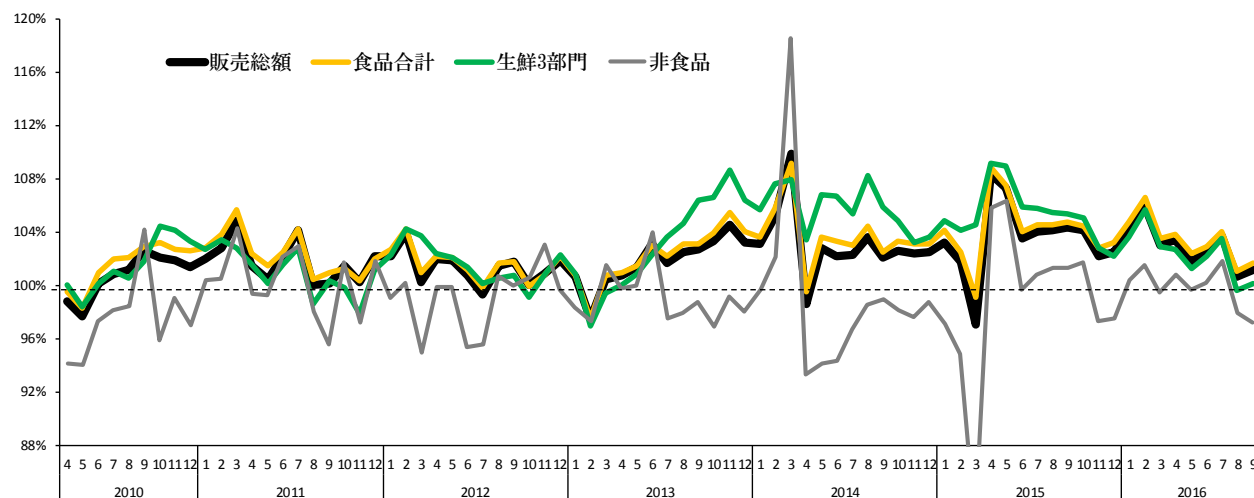
集計企業数 (社)	270	既存店総売上高 (万円)	88,737,736
総店舗数 (店舗)	7,708	店舗平均月商 (万円)	11,896
総売場面積 (㎡)	12,686,565	売場1㎡あたり売上高 (万円)	7.2

※売上高は税抜金額

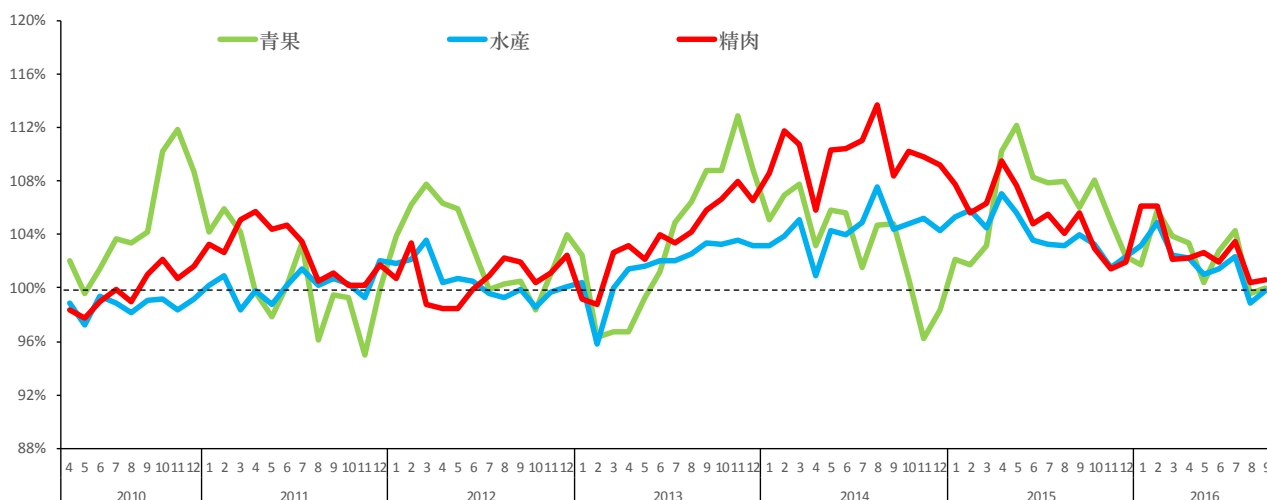
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2016年9月(前年同月比／全店ベース)

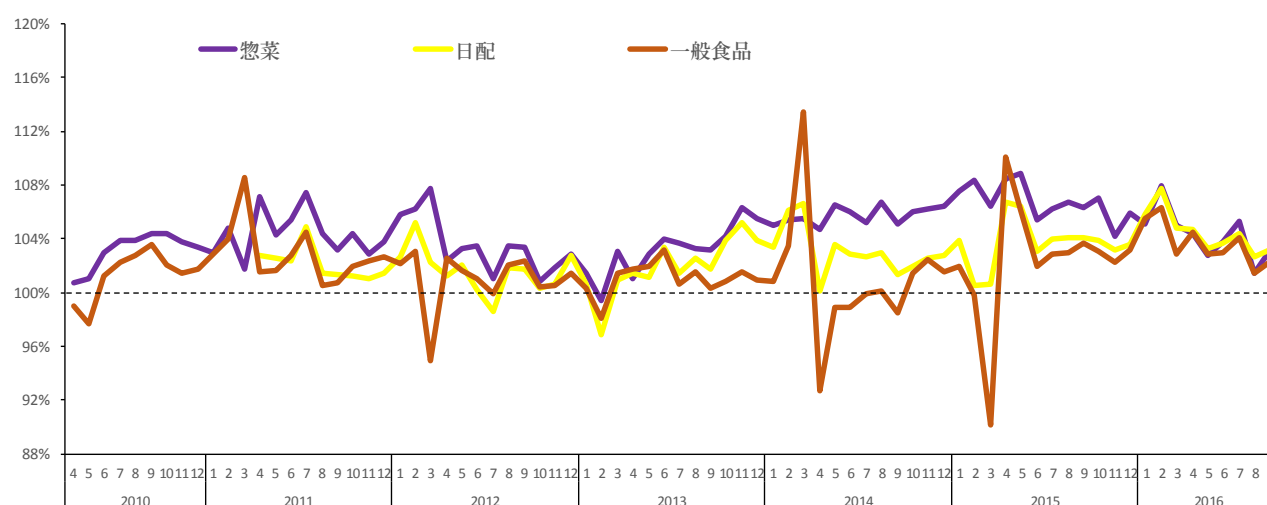
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



青果・水産・畜産



惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2016年8月までは確報版による前年同月比、2016年8月は速報版による前年同月比
 ※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」、「非食品」に「その他」を含む

2016年9月エリア別気候状況

1. 平均気温：全国的に高温

上旬：東日本でかなり高く、北日本と沖縄・奄美で高かった。

中旬：沖縄・奄美でかなり高かった。北・東・西日本は平年並だった。

下旬：北・西日本でかなり高く、東日本、沖縄・奄美で高かった。

2015年9月との比較：月を通して全国的に前年よりかなり高い気温となった

	平年との比較（℃）						今年と前年との差（℃）		
	2016年9月			2015年9月（前年）			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	1.2	-0.4	1.9	-0.5	-0.1	1.1	1.7	-0.3	0.8
東北地方	2.0	0.3	2.1	-0.9	-0.6	0.5	2.9	0.9	1.6
関東甲信地方	1.7	0.5	2.3	-1.1	-0.7	0.3	2.8	1.2	2.0
北陸地方	1.4	0.0	1.5	-1.7	-1.9	-0.1	3.1	1.9	1.6
東海地方	1.0	0.7	1.7	-1.5	-1.4	0.2	2.5	2.1	1.5
近畿地方	0.5	0.6	1.6	-2.4	-2.1	0.2	2.9	2.7	1.4
中国地方	0.4	0.2	1.4	-2.2	-2.3	0.4	2.6	2.5	1.0
四国地方	0.2	0.8	1.8	-1.9	-1.9	0.4	2.1	2.7	1.4
九州北部	0.1	0.5	2.1	-2.0	-2.2	0.9	2.1	2.7	1.2
九州南部・奄美地方	0.2	1.2	2.2	-1.2	-1.6	0.6	1.4	2.8	1.6

平年差



前年差



2. 日照時間：東日本以西で日照時間がかなり少ない

上旬：沖縄・奄美でかなり少なく、北日本と西日本日本海側で少なかった。一方、東日本で多かった。

中旬：東・西日本でかなり少なく、北日本と沖縄・奄美で少なかった。

下旬：北日本太平洋側と東・西日本で少なかった。

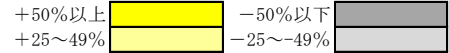
2015年9月との比較：中旬以降、前年に比べかなり少ない日照時間となった

	日照時間 平年比（％）						今年と前年との差（％）		
	2016年9月			2015年9月（前年）			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	65	95	116	96	93	105	-31	2	11
東北地方	121	53	74	49	115	140	72	-62	-66
関東甲信地方	130	25	58	50	114	137	80	-89	-79
北陸地方	127	38	61	36	100	138	91	-62	-77
東海地方	118	28	55	57	127	119	61	-99	-64
近畿地方	106	37	52	43	127	134	63	-90	-82
中国地方	81	38	58	46	126	129	35	-88	-71
四国地方	95	52	53	52	127	108	43	-75	-55
九州北部	71	50	70	67	113	104	4	-63	-34
九州南部・奄美地方	93	80	103	92	115	66	1	-35	37

平年差



前年差



3. 降水量：台風第16号により西日本中心の大雨

上旬：北日本、西日本太平洋側、沖縄・奄美で多かった。一方、東日本日本海側で少なかった。

中旬：東・西日本でかなり多く、沖縄・奄美で多かった。

下旬：北日本で少なかった。一方、東・西日本日本海側で多かった。

2015年9月との比較：上旬は降水量が少なく、中旬以降は降水量の多い地域が多かった。

	降水量 平年比（％）						今年と前年との差（％）		
	2016年9月			2015年9月（前年）			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	174	48	36	139	114	79	35	-66	-43
東北地方	124	92	101	229	138	33	-105	-46	68
関東甲信地方	80	233	79	385	83	56	-305	150	23
北陸地方	64	213	147	201	50	53	-137	163	94
東海地方	84	206	112	465	73	44	-381	133	68
近畿地方	106	266	129	315	38	51	-209	228	78
中国地方	99	322	116	241	46	40	-142	276	76
四国地方	128	334	118	195	51	90	-67	283	28
九州北部	72	384	221	126	45	82	-54	339	139
九州南部・奄美地方	175	260	49	163	18	87	12	242	-38

平年差



前年差



気象庁ホームページ・報道発表資料「9月の気候」参照

平年値は過去30年（1981年～2010年）の平均

スーパーマーケット統計事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

2016 年 10 月調査結果（9 月実績）
（2016 年 10 月 21 日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」

スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」

スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査 DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DI は「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感 DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DI は「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

10月調査（9月実績）結果概況

景気判断DI 現状・見通し判断ともに前月を下回る

9月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から-1.6の39.9、見通し判断も前月から-0.1の39.5となり、大幅な悪化をみせた前月DIをわずかに下回る結果となった。

経営動向調査は、売上高DIが-13.1（前月比+2.7）とわずかに上昇したものの、収益DIは-12.2（前月比-1.4）となり2ヵ月連続で二桁のマイナスを記録した。来客数DIが-11.2（前月比+3.2）とわずかに上昇したものの、依然として低迷を続けており、加えて客単価DIが-5.3（前月比-2.3）と前月より低下したことが影響している。

カテゴリー動向結果では、平年より高い気温による夏物・涼味関連商材の好調と秋冬商材不振の入り混じる結果となっているが、天候不順の影響を強く受けた生鮮三品と競合が激化している非食品DIのマイナス幅が大きくなっている。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査は改善と悪化の入り混じる結果となっている。調査開始以来の最低水準に接近した前月から総じて大きな改善はみせていないものの、見通し判断はやや下げ止まりをみせた。長期傾向では、引き続き2015年の秋頃から続く弱含みな傾向は反発の兆しをみせていない。（周辺地域景気動向DI 長期傾向参照）

8月と9月は、季節はずれの気温による売れ筋の変化や台風等の天候不順による生鮮相場乱高下や来客数への影響等、難しい外部環境となった。次月以降、天候の安定とともに、生鮮品の低迷と来客数減少傾向に歯止めをかけることができるか動向を注視していきたい。

景況感調査

現状判断

景気判断DI
当月：**39.9**（-1.6）
前月：41.5

消費者購買意欲DI
当月：**41.5**（-0.8）
前月：42.3

周辺地域 競合状況DI
当月：**42.3**（+1.1）
前月：41.2

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：**43.4**（-0.4）
前月：43.8

見通し判断

景気判断DI
当月：**39.5**（-0.1）
前月：39.6

消費者購買意欲DI
当月：**41.2**（+0.5）
前月：40.7

周辺地域 競合状況DI
当月：**39.9**（+1.2）
前月：38.7

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：**43.4**（+0.3）
前月：43.1

経営動向調査 経営状況

売上高DI
当月：**-13.1**（+2.7）
前月：-15.8

客単価DI
当月：**-5.3**（-2.3）
前月：-3.0

来客数DI
当月：**-11.2**（+3.2）
前月：-14.4

収益DI
当月：**-12.2**（-1.4）
前月：-10.8

販売価格DI
当月：**-0.4**（+1.4）
前月：-1.8

生鮮品仕入原価DI
当月：**8.5**（+4.1）
前月：4.4

食品仕入原価DI
当月：**2.2**（+0.1）
前月：2.1

カテゴリー動向

青果DI
当月：**-8.7**（+3.6）
前月：-12.3

水産DI
当月：**-13.9**（+1.9）
前月：-15.8

畜産DI
当月：**-11.4**（+1.1）
前月：-12.5

惣菜DI
当月：**0.3**（+5.4）
前月：-5.1

日配DI
当月：**-4.5**（-1.0）
前月：-3.5

一般食品DI
当月：**-3.5**（+3.3）
前月：-6.8

非食品DI
当月：**-12.7**（-2.7）
前月：-10.0

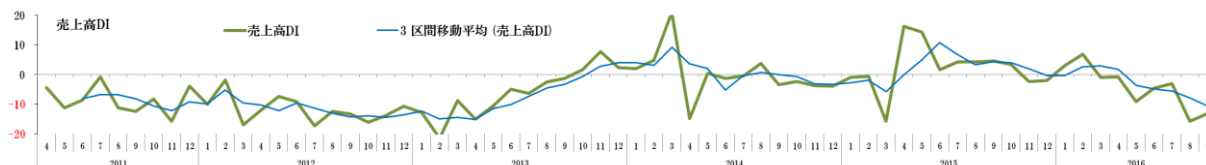
○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

10月調査（9月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

1. 売上高 DI

2015年3月以来の二桁マイナスを記録後も低迷が続く

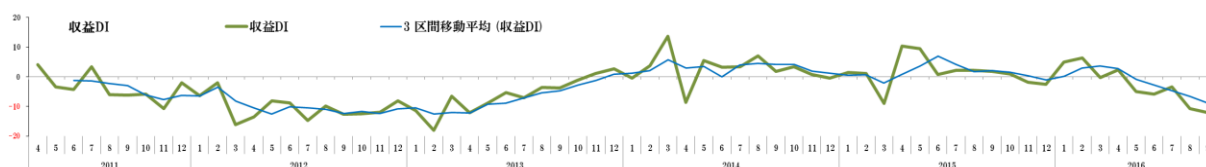
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	12.6	51.5	23.3	11.7	1.0	-15.8
売上高（当月）	13.1	41.9	30.8	12.6	1.5	-13.1



2. 収益 DI

2013年4月以来の二桁マイナスを記録後も低迷が続く

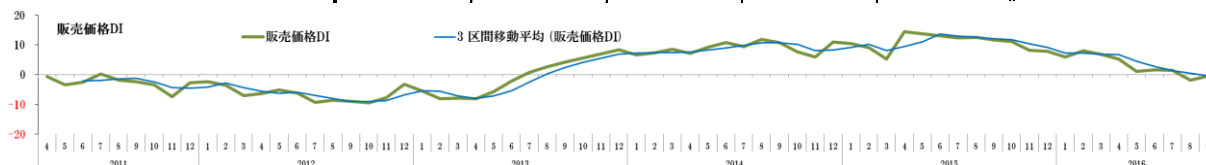
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	10.9	42.3	28.9	14.9	3.0	-10.8
収益（当月）	13.5	37.3	35.2	12.4	1.6	-12.2



3. 販売価格 DI

2013年6月以来のマイナスを記録後も低迷が続く

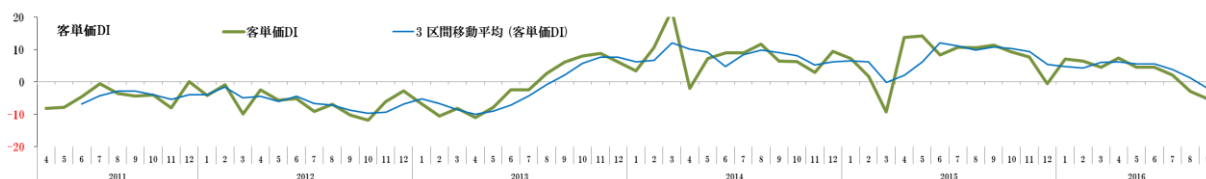
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.0	20.2	67.5	11.8	0.5	-1.8
販売価格（当月）	0.5	18.4	63.8	16.8	0.5	-0.4



4. 客単価 DI

2015年12月以来のマイナスを記録後も低迷が続く

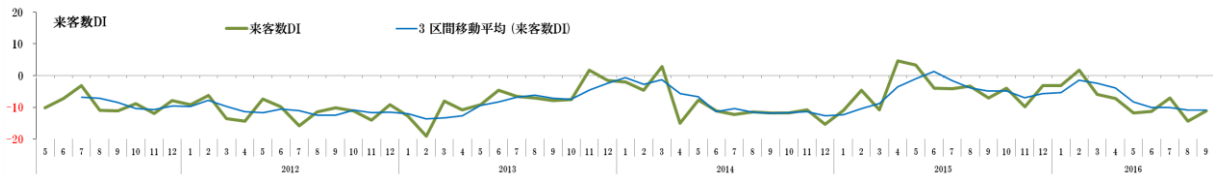
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	0.0	30.7	50.7	18.5	0.0	-3.0
客単価（当月）	2.0	31.5	52.8	13.2	0.5	-5.3



5. 来客数 DI

当月大きく低下し、再び二桁マイナス後も低迷続く

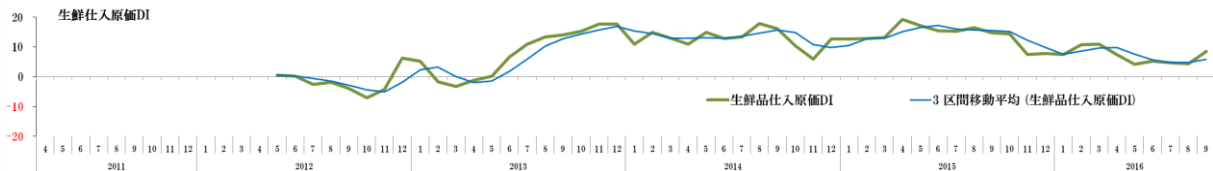
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	8.3	53.2	26.8	11.2	0.5	-14.4
来客数 (当月)	8.1	42.4	36.4	12.6	0.5	-11.2



6. 生鮮仕入原価 DI

当月上昇し、プラス圏を維持し

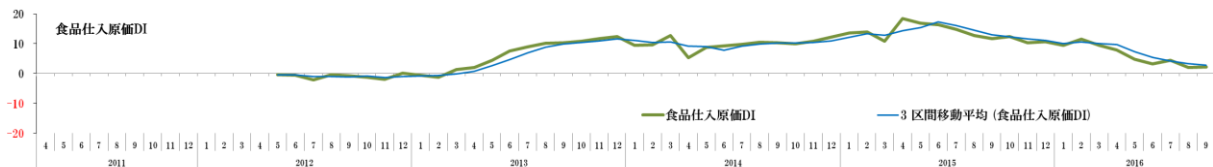
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	1.5	14.6	51.3	30.2	2.5	4.4
生鮮仕入原価 (当月)	1.0	10.4	47.2	36.3	5.2	8.5



7. 食品仕入原価 DI

下降傾向が継続するも当月は横ばいで推移

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.5	10.0	71.5	16.5	1.5	2.1
食品仕入原価 (当月)	1.6	6.2	76.7	13.0	2.6	2.2

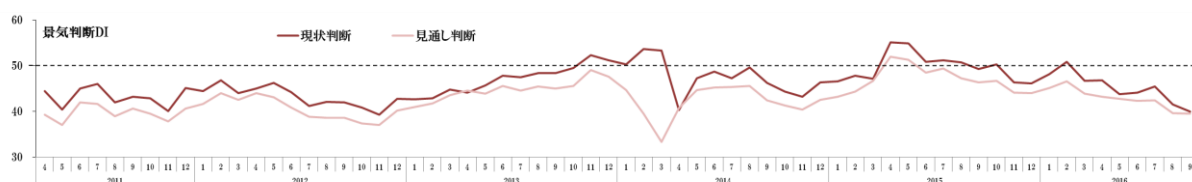


Ⅱ．景況感調査（2011年4月～／周辺地域景気判断のみ2010年4月～）

1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断は小幅に低下、見通し判断は下げ止まりをみせる

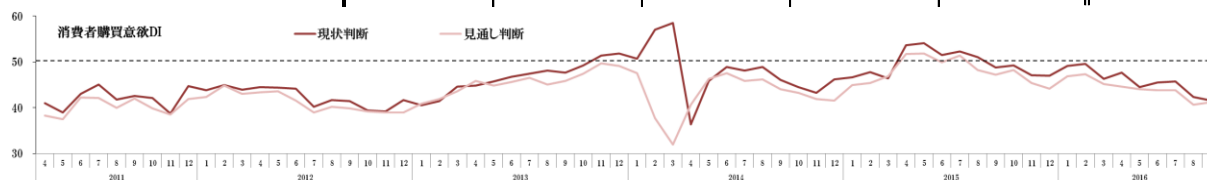
回答構成比（％）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断（前月）	2.9	34.1	57.6	4.9	0.5	41.5
【現状】景気判断（当月）	3.5	36.4	57.6	2.0	0.5	39.9
回答構成比（％）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断（前月）	4.4	35.9	56.8	2.9	0.0	39.6
【見通し】景気判断（当月）	4.0	36.4	57.1	2.5	0.0	39.5



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断は小幅に低下、見通し判断は下げ止まりをみせる

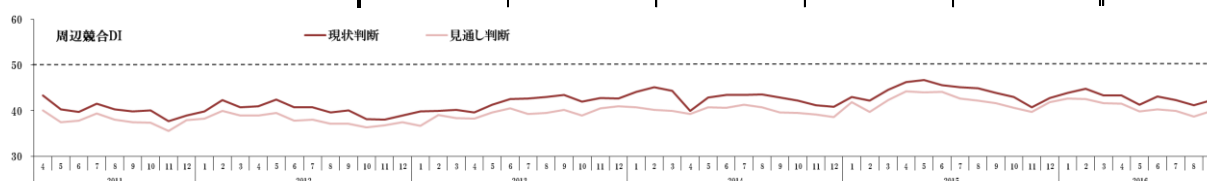
回答構成比（％）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲（前月）	1.5	34.1	58.0	6.3	0.0	42.3
【現状】購買意欲（当月）	0.5	35.9	60.6	3.0	0.0	41.5
回答構成比（％）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲（前月）	1.5	36.4	60.2	1.9	0.0	40.7
【見通し】購買意欲（当月）	0.5	35.5	62.4	1.5	0.0	41.2



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状、見通し判断共に大きな変化は見られず

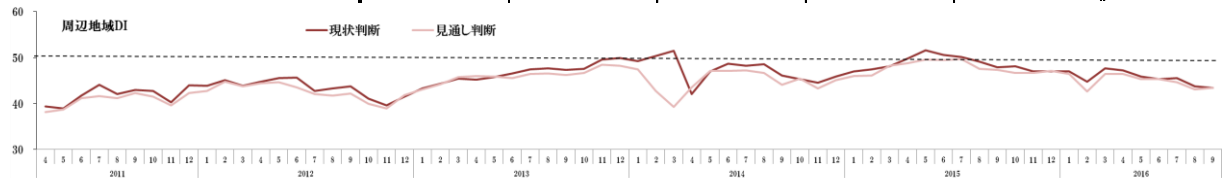
回答構成比（％）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況（前月）	2.9	31.2	64.4	1.0	0.5	41.2
【現状】競合状況（当月）	2.5	26.8	69.7	1.0	0.0	42.3
回答構成比（％）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況（前月）	7.3	31.6	60.2	1.0	0.0	38.7
【見通し】競合状況（当月）	7.6	25.8	66.2	0.5	0.0	39.9



4. 中核店舗周辺地域景気判断 DI

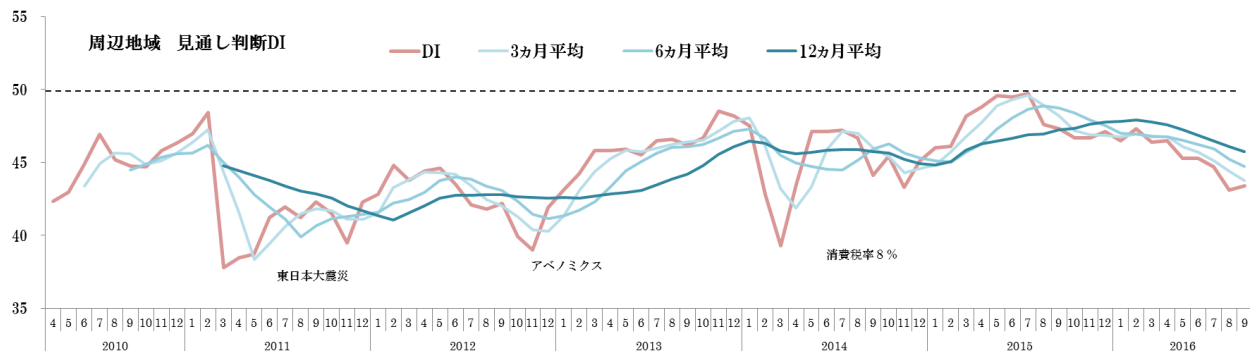
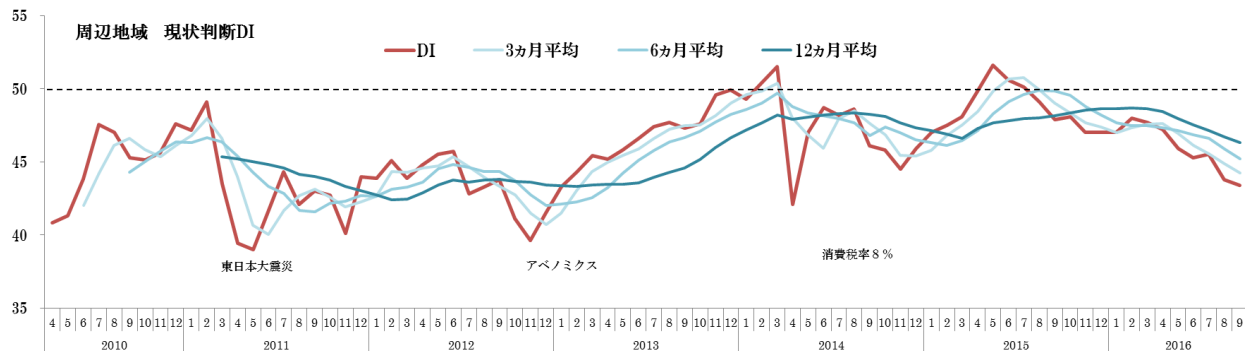
現状判断、見通し判断共に横ばいでの推移

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気（前月）	1.0	25.4	71.7	1.5	0.5	43.8
【現状】地域景気（当月）	1.0	25.4	72.6	1.0	0.0	43.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気（前月）	1.0	27.7	69.4	1.9	0.0	43.1
【見通し】地域景気（当月）	0.5	25.5	74.0	0.0	0.0	43.4



長期傾向（2010年4月～）

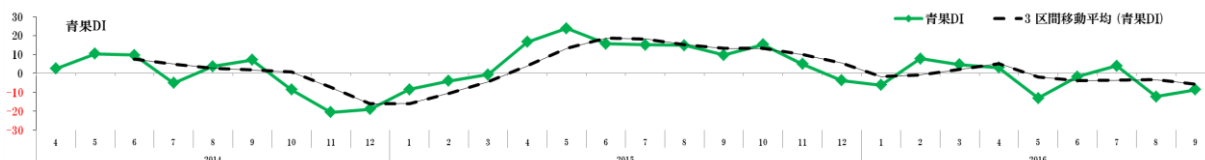
2012年11月以降上昇を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け下落した。5月に一旦持ち直し、6月～8月まで横ばい推移、9月～11月は再び悪化した。その後、12月以降6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで回復をみせた。しかし、6月以降は一転して下落が続き、11月は下落の速度がやや早まった。12月以降はやや持ち直し、底堅く推移していたが、2016年3月と5月も下落をみせ、ダウントrendが一層鮮明となっている。直近6月、7月は横ばい水準での推移となり、一旦下げ止まりを見せていたが、8月に一転して大きく下落した。9月は一旦下げ止まりをみせている。4月に12ヵ月移動平均が、2015年2月以来13ヵ月ぶりにマイナスを記録し、他の平均線もすべてマイナス推移を続けている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：－8.7（やや不調）

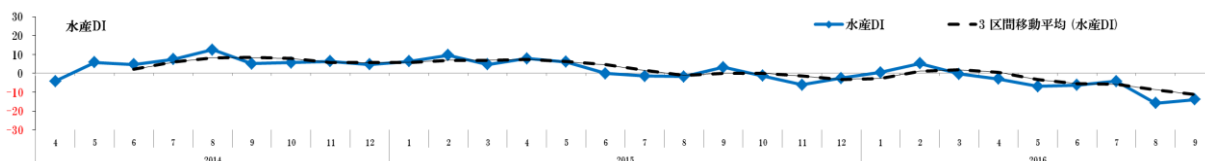
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	11.4	46.1	25.4	14.5	2.6	-12.3
青果（当月）	10.2	39.6	29.4	16.6	4.3	-8.7



土物野菜を中心に台風被害などで相場高となり、加えて品質の低下や入荷不足の影響を受け、やや不調となった。また、台風上陸による来客数減少の影響を受けた地域もみられた。サラダ商材の一部に好調もみられるものの、平年より高い気温により菌類を中心とした秋物・鍋物商材の動きが悪くなっている。果物は、ぶどうや輸入果実は好調、りんごや柿は不調とする店舗が多くみられた。

2. 水産DI：－13.9（不調）

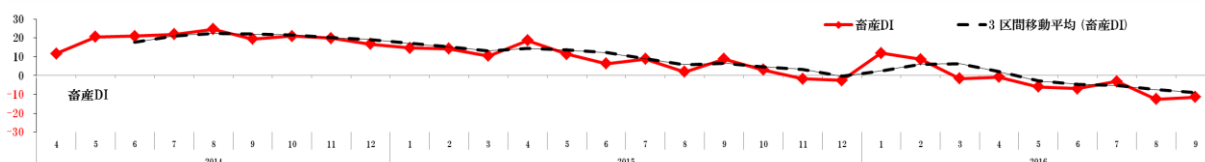
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	11.9	51.3	25.9	9.8	1.0	-15.8
水産（当月）	13.4	43.9	29.9	10.7	2.1	-13.9



旬であるサンマの不漁と小型化、相場高により売上不振となった影響でカテゴリー全体でも不調となった。平年より高い気温により秋物・鍋物商材の動きが悪くなっている。また、台風上陸による来客数減少の影響を受けた地域もみられた。秋鮭もサンマ同様に前半不振であったが後半にかけてやや回復した店舗がみられた。他の魚種も入荷不足と相場高傾向により伸び悩みをみせている。

3. 畜産DI：－11.4（不調）

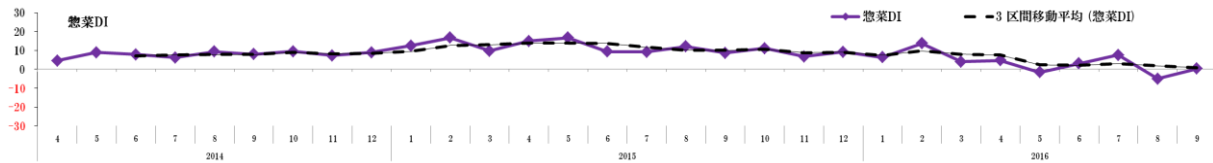
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	12.1	41.6	31.6	13.7	1.1	-12.5
畜産（当月）	14.4	36.9	30.5	16.0	2.1	-11.4



国産牛肉は相場高が続く、鶏・豚肉相場は低下傾向がみられている。平年より高い気温により、焼肉用商材は好調となったものの、和牛は伸び悩みをみせ、輸入牛肉へのシフトが多くみられた。価格が低下傾向にある豚肉は、買い上げ点数の増減により好不調分かれる結果となった。加工品は不振とする店舗が多くみられた。

4. 惣菜DI：0.3（やや好調）

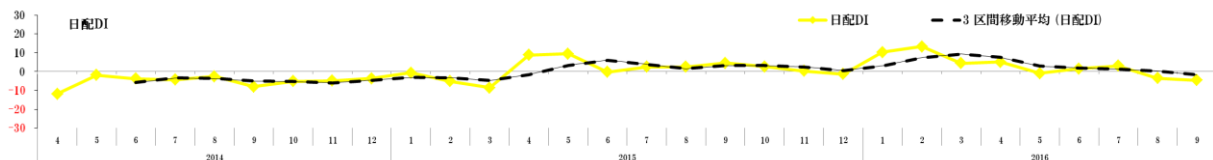
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	6.9	33.0	37.8	18.1	4.3	-5.1
惣菜（当月）	6.5	23.2	38.9	25.4	5.9	0.3



平年より高い気温により涼味・おつまみ商材が好調となり、やや好調となった。旬の食材を使ったメニューなどの取組みが成果をあげているとともに、天候に恵まれた地域では行楽需要による販売増加がみられた。一方で、台風による客数減の影響を受け、米飯類を中心にロスが多く発生した店舗もみられた。

5. 日配DI：-4.5（やや不調）

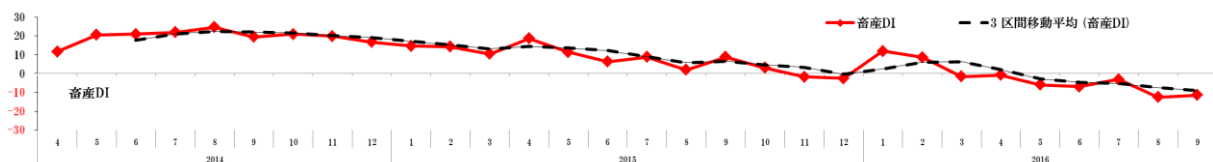
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	5.2	30.2	39.6	23.4	1.6	-3.5
日配（当月）	7.0	28.3	42.8	19.8	2.1	-4.5



平年より高い気温により夏物・涼味関連商材（アイス・飲料）が好調となる一方で、台風による客数減の影響や秋冬商材の練り物やおでん関連が不振となり、やや不調となった。野菜の高騰による冷凍野菜や機能性ヨーグルトや乳酸菌飲料が好調となっている。パンや価格が低下傾向にある卵は不調とする店舗が多くみられた。

6. 一般食品：-3.5（やや不調）

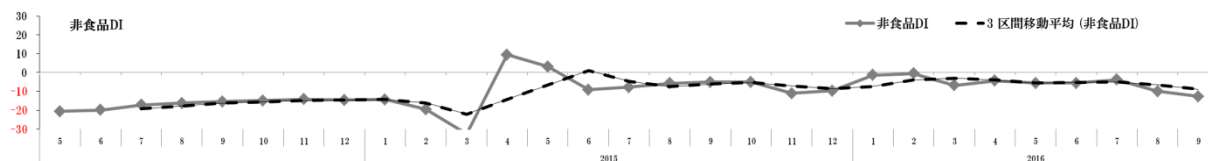
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	8.4	34.0	36.1	19.4	2.1	-6.8
一般食品（当月）	5.9	28.5	41.9	21.0	2.7	-3.5



平年より高い気温により、夏物・涼味関連商材（飲料、乾麺やつゆなど）が好調であったが、一方で、台風による客数減の影響や秋冬商材の不振により、やや不調となった。単価上昇を追い風に新米が好調とする店舗が多くみられた。菓子類は不調、アルコール類は好不調が分かれる結果となった。

7. 非食品 DI：-12.7（不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	12.0	34.4	39.3	9.8	4.4	-10.0
非食品（当月）	9.9	41.4	38.7	9.4	0.6	-12.7



殺虫剤など夏物商材の一部に動きがよくなっている商品も見られるが、ドラッグストアなど他業態との競合で厳しい状況にある。特に秋物衣料品やタバコを不調とするコメントが多くみられた。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調： ～ 20 好調： 20 ～ 10 やや好調： 10 ～ 0
 やや不調： 0 ～ -10 不調： -10 ～ -20 かなり不調： -20 ～

2016 年 10 月調査（9 月実績）キーワード TOP3

1. 天候要因（台風・気温が高い）
2. 青果相場高
3. 来客数の減少（競合・長雨）

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

9 月実績速報版 198 社
 8 月実績確報版 206 社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp